



ごあいさつ

平成22年4月1日の地方独立行政法人化から一年が経過しました。小児の地域医療ならびに高度専門医療の領域における当院の役割は今まで同様でとくに変わりはありません。

職員一同も、「すべての子ども達とそこご家族の健康と明るい未来を願い、時代にふさわしい病院を目指す」ことを基本理念として、日々、安全・安心医療の実践に努めております。

この小冊子には、各診療科・部門別の業務内容や治療成績等とともに、当院受診の手引き、さらに各部門の責任者からのメッセージ等を掲載致しております。受診を検討される際の参考になりますれば幸いです。

病院構内に一歩足を踏み入れられますと直ぐにお分かり頂けますように、敷地の狭さや駐車場不足、建物の老朽化等は如何ともしがたい状況です。そんな中で、ロータリーの花園など、ボランティアの方々や職員の手による、少しでも快適な療養環境作りを目指して工夫した跡が散見されるかとも思います。お気づきの点、新たなアイデア等ございましたら、ぜひお聞かせくださいますようお願い致します。

最近の出来事としましては、小規模ながら産科が開設され、本年4月、県から地域周産期母子医療センターの認定を受けました。新生児科や心臓血管外科等との緊密な連携が可能な当院であればこそその救命・緊急外科手術例が増えつつあります。地域的な周産期医療体制の整備という観点からも新病院の整備が急がれます。

懸案の新病院につきましては様々なご意見を頂いておりますが、今日に相応しい、質の高い医療を担える場としての整備が欠かせません。

また、少子高齢化が進む中で、しばしば問題にされる小児救急・時間外診療体制ですが、その構築と維持には、医療者側の努力は無論のこと、受療者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。

皆様のより一層のご理解とご支援をお願い致します

2011年6月 福重淳一郎



院長 福重淳一郎